

# 一般質問

岡野孝則

〔民主クラブ〕

## 合併処理浄化槽の検証と今後の対策は

問 平成10年度より開始した合併処理浄化槽事業、近年、実施件数が減少しているがその要因と、今後の対策は。

答 水質汚濁防止を図る事業として推進。件数減少は、消費増税等に伴い建築を先延ばしされていると捉える。平成24年度に、富良野市循環型社会形成推進地域計画を策定し、期間を3年間延長し、平成27年度までとし、目標設置基数400基。現在、378基、残数22基で当浄化槽設置の意義を広報紙等で積極的に知らせる。

## スポーツ振興とスポーツ施設整備及び建設計画は

問 スポーツ振興のため、指導者養成、研修会の事業推進と、夢を与えるプロスポーツ誘致の考えは。

答 今後も体育振興のため、ふ

らの体育協会と連携をとり、指導者養成、研修会を子ども達が、全道・全国へ挑戦するために開催していく。また、夢と感動を与えるプロスポーツ誘致は、関係機関と連携し進める。



陸上競技場

## 有機農業の今後市の対応は

問 日本は多くの面において閉塞状況にある。その要因の一つに十分な豊かさが実現されつある社会となっている。第二の要因として、日本は高齢社会と

小子化の進行にあり、この社会構造が世界に先駆けていてどう選択していくのかわからない状況にある。第三に自然の枯渇、環境破壊の環境問題がある。こうした時代背景から地球環境を前提に今後経済活動を続けなければならないと考える。国が有



有機野菜

今 利一

〔市民連合〕

## 有機農業の今後市の対応は

答 有機農業推進法の規定に基づき研修会や商談会の情報提供に努めてきた。更に、環境保全型農業直接支払い制度を活用し、若干ではあるが拡大。

## 女性が活躍できる場づくりは

問 地域活性化の為、女性が活躍出来る基本的な考えは。

答 市では、12月、府内女性職員ワーキングチームを設置、女性の視点から、「働き・住みやすいまち」「子どもを産み・育てやすい環境」「女性が活躍する社会」以上3点で検討を進めている。

農業においても女性ならではの智恵、感性を活かした活動支援の取り組みが求められる。また、女性の起業の取り組みも見られる。女性農業者が抱える生活上の問題、育児・家事・農業と介護の両立が挙げられる。農業における労働の確保を図り、女性農業者が活躍できる環境を整備する必要がある。